

# 大会競技規則

## 少年の部(幼年・小学生・中学生)

### 1. 競技方法

- ・3本勝負(2本先取した者の勝ち)とする。
- ・1本先取後、試合時間終了の時、1本先取者の優勢勝ちとする。
- ・判定により勝敗を決する場合は、次に示す順番により判定する。

①警告の有無 ②試合内容「優勢・劣勢」 ③技能

#### (1) 試合方法 予選リーグ・決勝トーナメント戦方式

- ・取得本数が同数の場合は引き分けとする。

リーグ戦の順位は以下の順位で判断する。

- ①勝ち数が多いもの ②負け数が少ないもの ③取得本数が多いもの
- ④取られた本数が少ないもの

以上が同数の場合は再試合を1分間の1本勝負の延長戦を行う。

さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

- ・決勝トーナメント戦は、試合時間内に勝敗が決しない時、1分間1本勝負の延長戦を行う。さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

#### (2) 試合方法 トーナメント戦方式

- ・試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
- ・三位決定戦、決勝戦は、試合時間内に勝敗が決しない時、1分間1本勝負の延長戦を行う。さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

### 2. 試合時間

- ・試合時間は、1分間30秒とする。
- ただし、予選リーグ戦の試合時間は、1分間とする。

- 3. 小学4年生以上は「少年ソフト面」を着装する。顔面への攻撃は全て「空撃」で当てない。男子中学3年生のみ「一般面」を着装し、面への直接打撃を必要とする。

全学年共、顔面への蹴り技は横蹴りのみとする。

- 4. 小学4年生以上は、股あてをすること。道着の外に着用すること。
- 5. 「少年面ソフト面」の脱落放らんについては、警告対象としない。
- 6. 使用できる「少年ソフト面」は、「日本拳法全国連盟」が販売する公認の面、又は大会実行委員会が認めた面とする。
- 7. 肘や膝へのサポーターは綿の入っていないものは認める。
- 8. 小学生中学年の部において、小学3年生は「少年ソフト面」と股あて着装は任意とする。
- 9. その他は、日本拳法競技連盟競技規則に則って行う。

# 大会競技規則

## 高校生、一般の部

### 1. 競技方法

- ・ 3 本勝負 (2 本先取した者の勝ち) とする。
- ・ 1 本先取後、試合時間終了の時、1 本先取者の優勢勝ちとする。  
判定により勝敗を決する場合は、次に示す順番により判定する。  
①警告の有無 ②試合内容「優勢・劣勢」 ③技能

#### (1) 試合方法 トーナメント戦方式

- ・ 試合時間内に勝敗が決しない時、1 分間 1 本勝負の延長戦を行う。  
さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。
- ・ 三位決定戦、決勝戦は、試合時間内に勝敗が決しない時、時間無制限の 1 本勝負の延長戦により勝敗を決する。

#### (2) 試合方法 リーグ戦方式

- ・ 取得本数が同数の場合は引き分けとする。  
リーグ戦の順位は以下の順位で判断する。  
①勝ち数が多いもの ②負け数が少ないもの ③取得本数が多いもの  
④取られた本数が少ないもの  
以上が同数の場合は再試合を 1 分間の 1 本勝負の延長戦を行う。  
さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

### 2. 試合時間

- ・ 試合時間は 2 分間とする。  
ただし、一般男子 (有段) の試合時間は 3 分間とする。

3. 大会では日本拳法全国連盟認定の製品の表足プロテクターの任意着装を認める。

4. その他は、日本拳法競技連盟競技規則に則って行う。

## 【新型コロナウイルス感染症対応限定規則】

- ・ 選手へ事前に笛・口頭での宣告に直ちに従う事を周知徹底する。(宣告音量抑制の為)
- ・ 接触時間の短縮をはかる～組打ち技の時間短縮 3 秒以内目安。
- ・ 無声の気合でも技の充実により決め (一本) となる事を再認識の上判断する事。
- ・ 一本の判定基準 (撃力) に関しては、通常時と同様とする。
- ・ 膠着状態 (組打ち・寝技) 解消又は危険技防止の際でも選手に接触せずに、主審の「待て」の宣告・副審の笛で制止する。